

会議結果報告書

平成29年2月6日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	平成29年2月2日(木) 午後3時30分～5時
開催場所	埋蔵文化財保管センター 会議室
出席委員	井上國夫委員、高橋豊委員、深瀬克委員、上野守嘉委員 (計 4人)
欠席委員	なし (計 人)
説明員職氏名	生涯学習課 桶田課長、武井主査、徳留主任 (計 3人)
議 題	(1) 平成28年度文化財保護事業の進捗について (2) 今後保護をすすめるべき文化財について
結 果	(1) について審議した結果、継続的に保護をすすめることとした。 (2) について審議し、今後保護をすすめるべき文化財について検討した。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 桶田課長、古屋主幹、武井主査、徳留主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 平成28年度文化財保護事業の進捗について

〈説明員〉

平成28年度文化財保護関係事業について資料により説明

田子山富士塚保存修理事業について、委員から補足説明

〈質疑応答等〉

委員) 今、JCOMで柳瀬川界限の紹介をしており、ハタザクラを取り上げていたが知っているか。

事務局) かなり前に問い合わせはあったが、現在放送するという情報はもらっていない。

会長) チョウショウインハタザクラのマップは作っているのか。

事務局) 作っていない。生涯学習課としては、原木と市民の木の管理をし、PRをすすめている。

会長) 前は、どこに植えたか把握していたが、かなり数が増えましたから、把握しきれないでしょうね。

会長) お囃子について、宿組囃子連保存会は大変喜んでくれた。今後も保存活動に効果のあるように、すすめていきたい。

会長) 埋蔵文化財について、鋳物関係の捨て場の遺構が発掘されたということだが、金屎(かなくそ)は出ていないのか。

事務局) 出ていない。

会長) 昔、西原の真ん中、大塚地蔵の通りのずっと手前の左側の家で銚(ずく)が出たと聞いたことがあるが。

事務局) そのあたりだと遺跡の範囲になっていないです。区画整理事業に伴い、道路部分の発掘調査をしています。住宅は調査していません。

(2) 今後保護をすすめるべき文化財について

〈説明員〉

今後保護をすすめるべき文化財について資料により説明。

〈質疑応答等〉

会長) 指定をすることで、所有者の文化財保護への意識が高まるようなものの指定をしたほうが良いのではないか。

委員) 樋門のことでお世話になった先生とは、その後は連絡をとっているのか。

事務局) 現在は、とっていません。

委員) 今後の指定の検討をしていくにあたって、関係を取り続けたほうがいいのかではないか。

委員) 樋門については、引き続き検討すべきと思う。

委員) 「野火止に町あり」は、いくつか史実とは違うところがあるようだが。

事務局) 「野火止に町あり」は、個人の方が制作したもので、史実を表現しようとしたというより、フィクションとして創作している部分もあるようです。文化財としてというよりも、昔の志木が映されている貴重な映像作品として大切にしていこうがよいと思っています。

会長) 文化財としてとらえていくかどうか、今後も検討していくこととしましょう。

委員) 貴重な文化財を保管できる燃えない保管場所について、折にふれアピールすべきではないか。建物の確保をしないと、古文書の整理受け入れができない。古文書をもっている人が、寄贈を考えていても、市に渡してちゃんとやってくれるか心配している。整理して見られる燃えない建物が必要。古文書の整理と場所の確保は、重要な課題である。

委員) 大変大切なことである、ぜひ計画的にすすめていただきたい。

会長) とりあえず、絵馬を調査してすすめることにしますか。公開についても検討しながらすすめる必要があるでしょう。

事務局) 現状調査を進めていくことで考えたいと思います。

委員) 富士吉田市のふじさんミュージアムの展示で、志木に資料を借りに来た。志木市には貴重な資料があるということだと思うので、富士講関連資料ということで、一括して文化財として指定してはどうか。

会長) 個人の所有のものも一括して指定してはどうか。

委員) 資料館のものや個人も含め、「富士講関連資料」として考えるべきである。

(3) その他

会長) 埼玉ものしり博物館ガイドに、郷土資料館が載っていない。埼玉県博物館連絡協議会に加入していないが、なぜか。

事務局) はっきりとはわからないが、退会している。

会長) 加入について、検討してください。

- 道路元標の移設について
- 上の水車モニュメントの移設について
- 埼玉県近代和風建築調査について

5 閉会